

雨天を晴らして50人が「原発なくせ」

第150回「原発ゼロ」調布行動

6月11日（水）、第150回目の「原発ゼロ調布行動」を10時半から行ないました。

朝から小雨が降り続いており、音響機器や楽器を守るために、ステージをバス停側の天井の下に移動する一幕もありましたが、雨天を衝いて集まった50人の「原発ゼロ」の願いに応えるかのように、天候も持ちこたえました。



今回の担当は、先月に続いて「原発のない暮らし@ちょうふ」です。司会は佐橋正文さん（西つつじヶ丘）、スピーチ調整は堀北理枝子さん（富士見町）、写真は鈴木彰（多摩川）さん、記録が菅野千文さん（東つつじヶ丘）です。歌・音楽は、鈴木勝男さん（小島町）、小林優さんです。



■司会・佐橋さん： この原発ゼロ集会も今日で第150回になる。皆で原発ゼロを目指していきましょう。

■歌：「群青」

■杉崎哲夫さん（国領町）： 今日の東京新聞に「東海第二原発再稼働は必要」との東海村村長の発言が出ている。これまでに11件ほど火災が起き、その原因は過電流など初歩的なミスが多い。こんな状況で老朽原発を再稼働すれば大事故につながりかねない。原発の60年超の稼働を認める法律ができたが、「原則40年で廃炉」には科学的根拠がある。フランスの原発にはコアキャッチャーがあるが、日本の原発にはない。メルトダウンした核燃料を冷やすため汚染水は発生し続け、今後も放出は続く。汚染水にはトリチウム以外にも多くの放射性物質が含まれている。政府は汚染土の再利用の実証実験を行い、全国で利用しようとしている。防衛の面でも地震の面でも原発は危険だ。

■司会： 今年5月に台湾の原発は稼働から40年となり廃炉となった。原発はなくすべきだ。

■鈴木勝雄さん（小島町）： 平和のつどいのチラシが出来上がったので、配布にご協力を。



■河野良彦さん（布田、調友会）： 私は14歳の時に広島で被爆した。人間も年を取れば衰えるように、金属やプラスチックも長く使えば劣化する。プラスチックの洗濯ばさみが紫外線で短期間に壊れるのと同様、原子炉に使われている金属も中性子で劣化する。2011年に定めた「原則40年ルール」を60年に延ばし、今回、停止期間中は年数に含まないとする、60年をさらに伸ばす新制度が決まった。60年を超えて動いた原発は世界に例がない。風力発電や太陽光発電が安くなっている中、大手電力は利益を上げるために既存原発を少しでも長く使いたい。経年劣化に加え、製造過程でも安全性が疑われることが行われている。原発を含め、核廃絶が私たちに与えられた任務だ。

■司会： 定期点検を行うのは、絶対安全という原発がないからだ。

■福田藤夫さん（菊野台）： 6月30日（月）に調布原水協の総会があり、7月の全国大会に向けて運動を盛り上げていく。

■大松由紀子さん（柴崎）： ① 6月30日の調布原水協総会（18時～20時 たづくり9階研修室）では、ノーベル平和賞受賞式報告会もある。② 6月13日から始まるたづくりまつりでは、15日14時から映像シアターで「西から昇った太陽」を上映する。第五福竜丸の乗組員たちのインタビューをアニメーションで再現している。③ 8月11日には調布平和のつどいが開催される。いずれもどうぞご参加ください。

■司会： 皆さん、ぜひ参加しましょう。被ばくによりDNAが破壊され、癌のほか様々な病気の発症につながる。



■歌：「大切なこと」

■小野和子さん（染地）： 25年度もトリチウム汚染水の放出が決まった。汚染土も分からないように使おうとしている。どちらも許せないこと。命を大切にしない世の中を許さない。6月14日に芝公園で全国集会があるのでぜひご参加を。皆で声を上げて社会を変えよう。

■鈴木彰さん（多摩川）： 雨予報だったがお天気も何とかもち、今日で150回目の行動となった。150回も繰り返さないといけないのは残念なことだ。この行動は原発をなくすという一点で集まり、今まで続けてきたが、今原発は推進に向かっている。そこには暮らしや福祉をないがしろにして防衛費を倍増するという政治背景がある。こうした背景を睨み、批判していく必要が強まっている。ずうっと減反で農業と農民を犠牲にしてきて、今頃になって備蓄米を放出して背景にある減反政策を隠そうとしているのと根は同じだ。戦後80年の今、当時の状況とそっ

くりになってきている。そうしたことへ防波堤として、「原発をなくす」を一致点を大事にこの行動を続けて行こう。

■鈴木勝雄さん：6月23日の沖縄慰霊の日に因んで「島唄」を歌おう。 歌：「島唄」

第151回「原発ゼロ」調布行動

日時：2025年7月11日(金)

10時半～11時半 於：調布駅前

今回は7月11日(金)。福島原発事故から14年と4カ月目、「調布行動」は第151回目となります。7月と8月の企画・進行・司会は「新日本婦人の会調布支部」のみなさんが受け持ってくれています。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとこと」は言ってやろうというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとこと」を！

準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただければ、このメールでみなさんに伝えます。

*小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。

大雨の場合は、参加者各自でご判断を！

なお、来年の「窓口さん」は、以下のように申し合わせていますが、われこそはというグループは、ぜひとも名乗り出て、輪番に加わってください。「1回だけ受け持ってみよう」というグループも大歓迎です。

149～150回(25年 5～ 6月)	@ちょうふ	
151～152回(25年 7～ 8月)	新婦人	8月は被爆・敗戦80年
153～154回(25年 9～10月)	調布合唱団	
155～156回(25年11～12月)	あねもね	
157～158回(26年 1～ 2月)	年金者組合	
159～160回(26年 3～ 4月)	新婦人	
161～162回(26年 5～ 6月)	@ちょうふ	